

みずほCustomer Desk Report 2017/04/24 号(As of 2017/04/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.30 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.39	1.0714	117.19	0.9991	1.2798	0.7518
SYD-NY High	109.42	1.0738	117.30	1.0000	1.2834	0.7549
SYD-NY Low	108.89	1.0683	116.47	0.9960	1.2757	0.7515
NY 5:00 PM	109.13	1.0726	116.94	0.9960	1.2811	0.7549
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			10.57/11.07	△25RR	2.435	Yen Call Over
NY DOW	20,547.76	▲ 30.95	債券市場	日本2年債	-0.2200	▲0.1bp
NASDAQ	5,910.52	▲ 6.26		日本10年債	0.0160	▲0.4bp
S&P	2,348.69	▲ 7.15		米国2年債	1.1802	▲0.4bp
日経平均	18,620.75	190.26		米国5年債	1.7703	0.6bp
TOPIX	1,488.58	15.77		米国10年債	2.2480	1.6bp
シカゴ日経先物	18,650	30.00		独10年債	0.2530	0.9bp
ロンドンFT	7,114.55	▲3.99	為替市況	英10年債	1.0340	▲3.5bp
DAX	12,048.57	21.25		豪10年債	2.5380	3.5bp
ハンセン指数	24,042.02	▲ 14.96	商品市況	USD/CNH	6.8892	0.0047
上海総合	3,173.15	1.05		ドルインデックス	99.98	0.20
USDJPY 3M Vol	9.83	0.20%		CRB指数	181.871	▲1.17
USDJPY 6M Vol	9.65	0.08%		NY金	1,289.10	5.30
EURJPY 3M Vol	12.95	0.04%		WTI	49.62	▲1.09
EURJPY 6M Vol	11.44	0.11%		Dubai Spot	-	-

東京	東京時間のドル円は109.39レベルでオープン。もみ合い推移の中で一時109.40まで上昇する局面が見られたものの、前日海外時間高値(109.48)を上抜けることはできず、その後は109.20近辺でのもみ合い推移が続いた。なお、麻生財務相の「ドルが強すぎるとのトランプ大統領の発言には問題がない」との発言が伝わったが相場の反応は限定的となった。その後は仏大統領選挙を控えての様子見ムードが強まったが、引けにかけて日経平均株価がじり高推移となったこと等を背景にドル円も小幅に上昇し109.37レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は小動き。109.37レベルでオープンすると、ポンド円の売りに連れて安値109.04まで下落。しかし、その後は仏大統領選を控えた全般的に様子見ムードが強くなり109.11レベルでNYへ渡った。ポンド円は下落する展開となった。140.05レベルでオープン。英3月小売売上高(除く自動車燃料)が前月比▲1.8%とBrexitを受けたポンド安からの物価上昇や賃金伸び悩みに大幅下落した。これを受けて139.22レベルまで緩んだ。しかし、6月8日英総選挙での与党保守党の好戦が予想されていることやソラナス英中銀金融政策委員の「小幅利上げでもなお緩和的」との発言等を受けてやや水準を戻し、139.40レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリ-00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外時間のドル円は109台前半でじり安の推移となり、109.11レベルでNYオープン。朝方発表された米経済指標は強弱入り混じる結果となり、影響は限定的となった。石油掘削リグ稼働数が14週連続で増加するなど米国の原油供給過剰懸念が強まりWTI原油先物が約1ヶ月ぶりに50ドルを割り込むと、米株も下落しドル円は安値の108.89まで連れ安となった。しかし、仏大統領選挙を控えた積極的な下値を追う展開には至らず。その後はフィッシャーFRB副議長「今年の利上げ見通し(3回)に変更はない」との発言を受けて米金利が上昇する展開に、ドル円も下げ渋った。午後にはトランプ大統領の「税制計画を来週発表する」との発言を受けてドル円は109.33まで急伸。それでも前日ムニューツ米財務長官が税制改革について「近く発表する」と発言していたこともあり、すぐ109.10付近まで値を戻し、109.13レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0691レベルでNYオープン。仏大統領選挙を目前に控え極右派の第1回戦突破の可能性も比較的高い中、積極的な取引は控えられ、1.0700を挟んでのレンジ推移が続いたが、クロス直前に1.0731まで上昇し1.0726レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
4月21日	16:30	独	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	4月	58.2/54.7/56.3	58.0/55.5/56.8
	17:00	欧	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	4月	56.8/56.2/56.7	56.0/55.9/56.4
	17:30	英	小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	3月	-1.5%/2.6%	-0.5%/3.8%
	22:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-	-
	22:45	米	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	4月	52.8/52.5/52.7	53.8/53.2/-
	23:00	米	中古住宅販売件数	3月	5.71M	5.60M
4月23日	-	仏	フランス大統領選挙 第1回投票	-	-	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月24日	17:00	独	IFO景況感/期待/現況指数	4月	112.4/105.9/119.2	112.3/105.7/119.3
4月25日	00:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.0800-1.0950	119.00-120.50

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円相場は、109円台前半を中心に小幅レンジで推移した。トランプ大統領がAP通信とのインタビューで「大規模減税を盛り込んだ税制改革案を来週公表する」とコメントしたことで、109.42円まで上昇し、109.10-15レベルでクロース。本日のドル円相場は、底堅い展開を予想する。仏大統領選挙初回投票ではマクロン氏が決選投票に進んだことで、リスク回避志向が緩和することが期待され、底堅い展開となりそうだ。ただ、朝鮮人民軍創設記念日を明日に控え、北朝鮮が核実験に踏み切る可能性もあることから、地政学リスクに対する警戒もあり、積極的に上値を追う展開とはならないだろう。